

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都練馬区豊玉中
園名	アスク豊玉中保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・音楽(五感と音)

<テーマの設定理由>

・普段から季節の歌や楽器が身近な存在にあるため五感と音を取り入れた。

2. 活動スケジュール

・6～1月まで行い、月1回以上講師と共に興味を広げていき、講師と体験したことを後日クラスでも取り入れていき持続的に関心が続いていけるようにしていた。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・ピアノ、スピーカー、クレヨン、図鑑、楽器、
・5～6人ごとに集まって小グループで行うようにした。
・6月から1月まで(月に一回)五感と音に関してピアノの音を聞いて音がどんなイメージなのか答えたり、自分が考えたイメージを絵に書いていった。
4歳、5歳は上記の内容とさらに楽器に触れて音を自由に鳴らしてみる事も行った。

4. 探究活動の実践

【3歳児実施分】

問いを考える(五感と音):身の回りにある音ってどんな音?ピアノの音を聞いてどんなイメージが浮かぶ?

探究活動の様子:音を聞いて言葉にしてみたり、絵をかいてイメージを具体的にしてみる
ふりかえり(保育士の気付き):歌ではないピアノの音を聞いて、音に合わせた場面を想像して友だちと共感したり共有することを楽しむ姿があった。自分の考えとの違いに気付き楽しめていた。

【4歳児実施分】

問いを考える(五感と音):身の回りにある音ってどんな音?ピアノの音を聞いてどんなイメージが浮かぶ?

探究活動の様子: 普段使って遊んでいるおもちゃごとのおもちゃやブロックなどを使って演奏してみた。おもちゃの素材の違いによって音が違うなど自ら興味のあるおもちゃを選んでいた。

ふりかえり(保育士の気付き): 普段との使い方とは違い、音を鳴らすということを新鮮に感じて楽しむ様子があった。素材の違いで音が違うことにも気づき、友だちと共感しあうことがあった。

【5歳児実施分】

問いを考える(五感と音):身の回りにある音ってどんな音?色んな楽器の演奏の仕方って知ってる?

探究活動の様子:ピアノカ、ハンドベル、ドレミなど、楽器に触れたり楽譜の読み方について触れてみて知っていく。小さい音や大きい音を鳴らすことをそれぞれ考えて楽しむ様子があった。

ふりかえり(保育士の気付き): 楽器に触れていくことで激しくすると大きくうるさい音になる、優しく鳴らすと心地いい音になるなど子どもたちが自ら演奏してみることで知っていくことができていた。

5. 活動の様子が分かる写真

三歳(五感と音)



4歳児(五感と音)



5歳児(五感と音)

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都練馬区豊玉中
園名	アスク豊玉中保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・英語(国と文化)

<テーマの設定理由>

・英語講師との交流もあり、園児にも外国の子もいるため更に異文化について興味関心を広げていけるようにするため。

2. 活動スケジュール

・6～1月まで行い、月1回以上講師と共に興味を広げていき、講師と体験したことを後日クラスでも取り入れていき持続的に関心が続いていけるようにしていた。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・スピーカー、クレヨン、図鑑、楽器、各国にちなんだぬりえ
・5～6人ごとに集まって小グループで行うようにした。
・6月から11月まで(月に一回)国と文化について、12月と1月は恐竜についてその都度講師にからの問いかけに答えたり、子どもたちから疑問を問いかけたり、イメージを絵にしてみたり、表現することを中心に行った。

4. 探究活動の実践

【3歳児実施分】

問いを考える(国と文化):日本ではない国ってどんなところ？

探究活動の様子:日本以外の食事や服装などの文化や挨拶などに興味を持ち真似をして言葉にしてみる。

ふりかえり(保育士の気付き):クラスに異国の子がいるため普段から身近に感じていたことで、興味関心が高かった。知らなかったことにも興味を持ち知ろうとしていた。

【4歳児実施分】

問いを考える(国と文化):日本ではない国ってどんなところ？

探究活動の様子:初めて聞く国の名前やあいさつについて興味を持ち真似をして言葉にしていた。食べ物など食べたことはないが名前は知っているということが多く子供たちから声が上がリ意見交換の場となっていた。

ふりかえり(保育士の気付き):異国について知っていることを言葉にする子がいると、そのことに対して疑問があがるなど自然とやりとりが広がっていった。

【5歳児実施分】

問いを考える(国と文化):日本ではない国ってどんなところ？

探究活動の様子:世界の図鑑をみながら日本とのたくさんの違いに気付いて興味を示していた。食べ物など身近にあるものは知っていたり食べてみたことがある子も多く、子ども同士で言葉のやりとりをして共有したり共感したりしていた。

ふりかえり(保育士の気付き):回数を重ねるごとに興味関心が広がり、子どもたちの知識にもなっていた。興味を持ったことでいままでテレビやネットで見かけると気づいて教えてくれるこもいた。

5. 活動の様子が分かる写真

3歳児(国と文化)



4歳児(国と文化)



5歳児(国と文化)

